

2024年度第4回理事会議事録

日時 令和7年(2025年)3月11日(火) 19:00~20:00

出席者 阿部 修、上田 優、内田幸司、江田哲男、菊地克彦、高橋光幸、鈴木雄一、高橋順士、
寺田理希、土井 司、沼野智一、秦 博文、山崎 良、錦 成郎(監事)

委任 熊代正行、吉丸大輔 (16人)

[報告事項]

1. 第15回MR医療安全管理セミナー_開催報告 [高橋・秦]

(1) 実施状況

- 1) 日時 2024年12月1日(日) 13:00~17:00
2024年12月1日(日) 20:00~ 医療安全セミナー確認テスト (WEB)
- 2) 会場 ビジョンセンター品川 2F 204室
- 3) 参加者 申込み 対面 12人 WEB 126人
受講者 対面 12人 WEB 110人(視聴ログで確認できた人) 合計 122人
- 4) 確認テスト+アンケート実施者
認定更新者 83人 認定一般 17人 一般受講者 22人 未実施者 10人
- 6) 修了証 テスト60点以下の6人に修了証は出さない

(2) 参加者の声(一部)

- 1) MRIの新規技術については積極的に知ろうとしますが、安全については後回しになりがちです。技術に併せて安全に検査を遂行すること、患者さまの立場に立ってわかりやすい説明に努めることの重要性を改めて感じることができました。
- 2) 業務を進める中で、検査時間に追われるあまり、問診の実施や同意書の取得が目的化してしまっていると痛感しました。本来、これらの精度を高めるためには、患者との信頼関係を構築することが重要であることを学びました。
- 3) MRI検査に携わる医療スタッフ(医師、看護師、技師など)が全員、意識高く取り組まなければならないと再認識しました。しかし、当直帯で不慣れなスタッフがMRI検査を行う現実があり、その全員が意識高く業務に向き合うのは難しく感じています。

2. 第2回MRI安全セミナー_開催報告 [高橋・秦]

すべての医療従事者のためのMRI安全セミナー

「MRIの安全確保が叫ばれる理由 ~明日は我が身~」

(1) 実施状況

- 1) 期日 2025年1月26日(日) 13:30~16:30
- 2) 会場 ビジョンセンター東京日本橋 5F 501室
- 3) 参加者 申込み WEB476人 受講者 WEB 299人(アンケート 193人)

(2) 参加者の声(一部)

- 1) MRIの安全意識が高まりました。今までは火傷に関する説明をしていませんでしたが、明日からはしっかり説明して安全安心な検査を心掛けていきたいです。
- 2) 看護師であってもMRIの磁場の種類や詳細な注意事項は知らずととてもためになりました。現

場では医師が同意書を患者に配布し『読んでサインしてください』としか説明しておらず、患者も良く読まずに同意サインをしていることが多いため、医師もしっかり聞いてほしいです。

3. MR 肝エラストグラフィ講習会開催報告 [沼野・秦]

(1) 実施状況

- 1) 開催日時 2024年2月23日(土・祝) 9:45~16:15
- 2) 開催場所 東京都立大学荒川キャンパス 図書館棟2階MRI室
- 3) 参加者 16人(参加申込36人から選定) 4) スタッフ 6人(学生1人を含む)

(2) 参加者の声(一部)

- 1) 現地で行う必要性を十二分に感じた。
- 2) メーカーアプリにも聞いてもらいたい。
- 3) 基礎からの講習であったので大変勉強になった。

4. 認定機構連絡会の会議報告 [内田]

(1) 開催日時・場所：2025年1月13日18時00分～・JSRT東京事務所+Web

(2) 参加団体：10機構担当者、JSRT役員2名、オブザーバJART役員2名

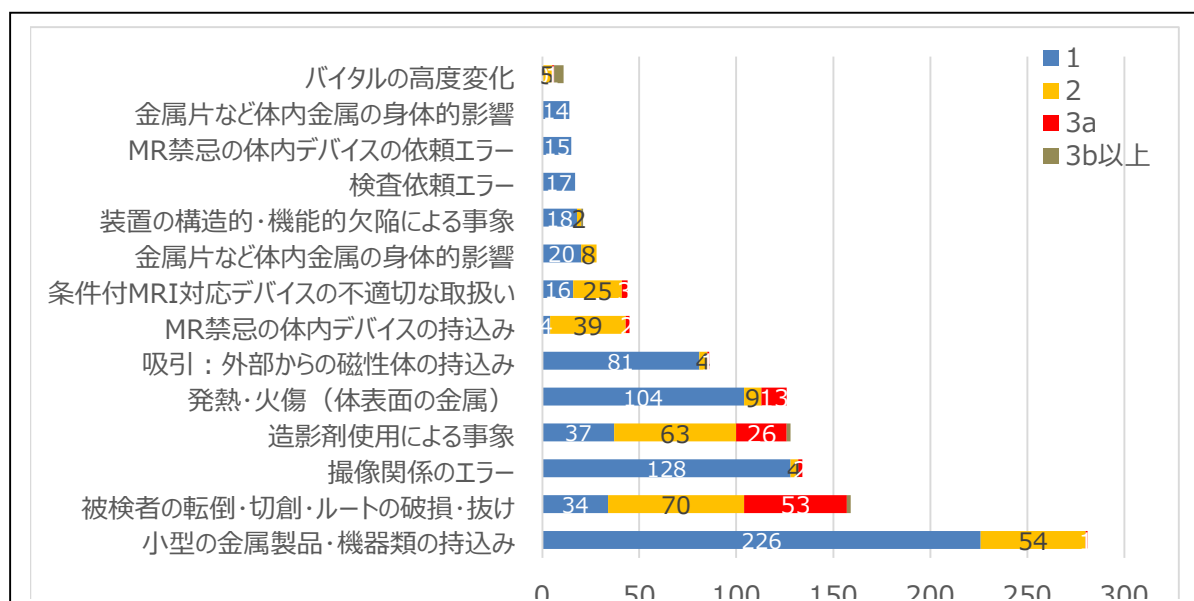
(3) 各機構からの報告(抜粋)

- 1) 日本放射線治療専門放射線技師認定機構【合格率54.2%】
- 2) 日本磁気共鳴専門技術者認定機構【合格率47.4%】
- 3) 日本核医学専門技師認定機構【合格率58.7%、例年よりやや多め】：20周年記念事業
- 4) 日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構【合格率56.2%】
- 5) 肺がんCT検診認定機構【合格率61.8%、63.3%】

(4) 現状の課題に関する意見交換

- 1) 業務拡大の推進や法令改正には根拠データ(法的根拠)が重要であり、指示系統の明確化と関係機関の合意形成が必要。適切な教育・認定制度の整備も課題。
- 2) 診療放射線技師の大腸CT業務範囲が拡大し、一次読影レポート作成も容認されている。
- 3) X線CT撮影ガイドラインの監修のことばの中に、診断領域全体を網羅する統一認定制度(2階建て)の欠如が課題であると記載されていたことが紹介された。

5. JSMRMに報告された2024年のインシデント報告(1109件)



6. 磁気共鳴専門技術者更新審査 [山崎・内田・江田・菊地]

- (1) 審査期間 2025年2月3日～26日
- (2) 審査回数 6回
- (3) 審査対象 更新有資格者：159人 更新審査申請者：151人
- (4) 審査結果 磁気共鳴専門技術者 [更新]：130人 (内上級→更新：6人)
上級磁気共鳴専門技術者 [更新]：16人 (内新規：7人) 延長申請：5人
- (5) 審査結果詳細

理事会資料送付後に、更新延長申請者から更新申請があった(上級→一般更新)

	認定試験 合格者	更新申請 資格者	更新 未申請	更新 申請者	審査合格者		更新延長 申請	更新率	在籍率
					専門技術者	上級			
第5回	65	60	5	55	47(5)	6(1)	2	88.3%	81.5%
第10回	60	59	3	56	49(2)	7(3)	0	94.9%	93.3%
第15回	40	40	0	40	35	3	2	95%	95%
計/平均	165	159	8	151	130(6)	16(4)	5	91.8%	88.5%

() 内の数字：専門技術者は前回「上級」であったのが今回「一般」で更新された人の数
上級専門技術者は、今回新たに「上級」で更新された人の数

[審議事項]

1. 磁気共鳴専門技術者 2024年度更新者の承認

- (1) 2025年4月1日更新者に対して、申請された方の更新を承認した。
- (2) 2024年4月1日更新の延長更新申請者の更新申請を承認した。
- (3) 今後のスケジュール
 - 1) 更新者に更新料の請求書を送付する(1週間を目処に更新料を納付するように通知)。
 - 2) 4月1日までに更新証を送付する。
 - 3) 更新者の更新料の振込みの照合(未振込者は更新を取り消す)

2. 2025年度事業計画案

(1) 第21回磁気共鳴専門技術者認定試験

開催日 10月26日(日)前後で調整する

東京都立大学の行事を確認して期日を確定する。その後、下記の会場を予約する。

会場 東京) 東京都立大学荒川キャンパスを予定(未予約)

大阪) 難波御堂筋ホールを予定(未予約)

試験日程が決定すれば、早々にホームページに案内を掲載する。

(2) 専門技術者更新のためのMR医療安全管理セミナー

12月の第1週を目処に開催を計画する。

関西での開催希望もあり、高橋理事を中心に検討する。

内容(講演者も含めて)刷新も視野にいて第2回理事会(9月中旬)までに決定する。

(3) 一般の医療従事者のためのMR安全セミナー

平日2時間で2回に分割してwebで開催する計画を考えている。

1月のセミナーの動画配信の効果も踏まえて、次年度計画を立てる。

(4) MR 肝エラストグラフィ撮像技術講習会

認証機構の情報では、49 施設で実施され 34 施設が保険認証されている。

メーカーのアプリに正しい技術を伝える手法を検討する（実機を使用しない講習会など）。

8 月の開催は決定、2 月の開催は 8 月の状況をみて判断する。

3. その他

(1) MR 安全管理講習の更新のための e-learning と受験のための e-learning の更新

1) 更新のための MRI 安全管理講習 e-learning

第 15 回 MR 医療安全管理セミナーを収録・編集する

- ① MRI の医療安全 [総論] 土井
- ② MRI の医療安全 [問診を考える] 矢部
- ③ 磁性体の持込み／対外装着品の安全対応 [貼付薬と化粧品を含む] 坂井
- ④ 体内装着品の安全対応 [添付文書を含む] 小見
- ⑤ 心臓植込み型電氣的デバイス (CIEDs) の対応と今後の動向 黒田

2) 受験のための MR 安全管理講習の e-learning

上記の 5 つに加えて基礎編は「HP 動画で学ぶ」内田理事の 2 編と差し替える

3) 上記 e-learning の公開 6 月 1 日を予定

(2) 一般向け MR 安全セミナーの動画配信

1) 「安全な MRI 検査を考える会」の「MRI 安全 web」に掲載する

認定機構からはリンクを貼って案内する。

閲覧には会員登録が必要であるが無料、ダウンロードはできないようになっている

3) 4 月 10 日の公開を目標にし、完成後、セミナー申込者に URL を案内する。

(3) JSRT の研究班が作成した危険予知トレーニングの掲載について

JSRT のサイトへのリンクを認定機構のホームページ安全情報の中に貼る。

(4) 更新時の論文や研究発表の登録について

「自己研鑽成果」と同じように、論文であれば「誌名」、研究発表であれば「学会大会名」を入力できるように改修する。

(5) 理事改選

今回の理事会で 2023 年度 2024 年度の理事での会議は終了となる。

以上